

一人ひとりの夢。思いを大切に 福祉しなふくニュース

編集人 しなふくニュース編集委員会 発行人 永田 元
 発行所 品川総合福祉センター 〒140-0003 東京都品川区八潮5-1-1
 電 話 03(3790)4839 法人URL <http://www.shinafuku.com> E-mail info@shinafuku.org

目次

- (一) らうんじ
- (二～五) 令和元年度事業報告
- (六) 決算報告・寄付者一覧
- (七) 事業活動収支計算書
- (八) AED寄贈のお礼・後援会案内

新製品のご紹介・しなふくの窓

作品名「明るい未来へ」

サンかもめ 制作 (関連写真：五面)

らうんじ

京浜運河の対岸、ちょうど鮫洲試験場のあたりからセンター側を眺めると、まさに八潮団地は一つの島。その北側先頭に品川総合福祉センターが見えてきます。

八潮団地も品川総合福祉センターも今から約四十年前に誕生しました。何もない埋め立て地に住宅が建ち、公園が作られ、沢山の人が集まり新しい街が生まれました。ここでは様々な新しい試みが行われ、私たちの法人も日本初の都市型複合施設としてスタートしました。「下駄ばきで行ける身近な施設」という親御さんの願いや「住み慣れた町で一生暮らしたい」という誰もが持つ願いの実現ため“地域”というキーワードを基に誕生したのでした。

昨今「共生社会」という言葉が注目されていますが、私たち法人の原点である「地域とともに」はまさにこの共生社会ということであつたと思います。四十年前からその実践が始まられていました。前からその実践が始められていました。先人の皆さんがあながたが積み重ねてきたこの実践を宝物として、さらに発展させていくように、今後も仕事をさせていただければと思っています。

事務局次長

松木利彰

令和元年度 事業報告

品川総合福祉センター

法人の三重点課題（人権尊重、人材育成、収支改善）を掲げた中期経営計画（当年度から三か年）を策定、課題解決に向けた取り組みを進めてきました。

法人事業では、心身障害者

福祉会館が指定管理更新初年度で、事業改革への取組みを品川区と連携、順調に事業を進め、その中で障害者生活支援センターでは障害児の相談支援を開始し、移動支援従業者養成研修の実施体制を整備しました。



十八番を歌いあげています

令和二年二月、全国的に新型コロナウィルスの感染防止体制となり、入所施設の面会自粛対応、職員等の健康管理体制を強化し、「緊急事態宣言」に対応しました。

かえで荘

職員の誰もが利用者のために、懸命に何かをしたいと思っています。その職員一人ひとりの想いを集結し、形にしたものが委員会（係）活動であると言えます。

かえで荘では、柱となる委

した。

員会の活動日と活動内容を見える化してきました。こうして取組みの努力が、特養の目標稼働率九十六%達成という成果を生み出したのではない

かと思います。

サービスの質をはかるこ

とは難しいことですが、それを信じてやり貫こうとした力こそ

それがチームを成長させてくれ

たのだと思います。

中延特別養護老人ホーム

排泄をテーマにオムツメモカーへ協力をお願いし、技術と知識の向上に努めました。その結果、褥瘡予防に大きな成果がありました。

また、居室の掃除や下膳等を介護士が全て行うのではなく、利用者の方が行なう事で出来る事を自身で行い、やりがいや生きがいに繋げる事を目指しました。

毎月第三木曜日に開催している、せせらぎ喫茶は定番です。喫茶で開催した職員の



せせらぎ喫茶でおもてなし

八潮南特別養護老人ホーム

令和元年度は虐待防止、身体拘束廃止について重点的に取り組み、虐待防止については、月一回のセルフチェックや現任研修を通じて不適切なケアの防止に努めました。

サービス向上に対しては、

第三者評価の受審や品川区施設サービス向上研究会によるセルフチェックを実施し、課題の把握と対応をしています。またフロアごとに実施していく行事に相互に参加できるようになりました。それにより利用者の参加機会が増え、職員の連携にもつながりました。

八潮南グループホーム

令和元年度も「共に生活する」ことを意識し、買い物や食事作り等本人の力が發揮できる機会を作り支援しました。

また、利用者・ご家族からの希望で体操の時間を設け、「品川体操、みんなの体操」等を両ユニット合同で行いました。加齢と共に医療面でのケアが必要な入居者が増えたため、訪問医、訪問看護、薬剤師と連携をとり健康管理に努めました。

感染症関連では環境を含めた衛生管理を強化し予防に努めました。

八潮在宅サービスセンター

しなふくニュース №144

から委託事業として認知症支

援プログラムを実施し、効果的なサ

ビス提供



ぽつかぽつかカフェ、大盛況！

に勤めています。

新規利用や増回など、変則的な利用希望等にもできるだけご本人およびご家族の希望に添うようにし、ケアマネージャーとの連携にも努め、稼働率の向上を図っています。

八潮在宅介護支援センター

地区ケア会議の中で事例検討の機会を多く持ち、多職種の参加もあり個別の課題から地域の課題まで広く検討することができます。

また、認知症サポート養成講座の他、図書館カフェやオレンジカフェなど実施・参加協力を行っています。

次年度も引き続き、自治会との連携の他、民間事業所との協働を進め、地域活動の推進を図っていきたいと思います。

大井在宅介護支援センター

大井第二在宅介護支援センター

地域の事業者や社会福祉協議会の支え愛ほつとステーショ

域の課題を考える事例検討の

機会を多く持ちました。

例年通り認知症サポートの場と協働し、カフェや健康づくりに関する講座などの企画運営をしました。

大井在宅サービスセンター

品川区が推奨している認知症軽度者プログラムを用い、利用者にとつて一番適切なサービスとケアを実践しました。

新たな事業として作業療法士を採用し、在宅で日常生活を送りやすくするアドバイスやリバビリを始めました。

中延在宅介護支援センター

令和元年十一月から、モodel事業として「品川区中延障害者計画相談支援事業所」が併設され、高齢者施設内で障害者の相談を受けられるようになりました。こうした特徴

になりました。こうした特徴を生かして、高齢と障害の両サービスを切れ目なくスムーズに利用して頂けるよう、連携を深めています。

高齢者に関する相談も、こ

れまで以上に地域の皆様が相談しやすい事業所となるよう努めます。

中延在宅サービスセンター

地域共生社会の実現に向け、高齢者の通所施設で障害者を受け入れができる「共生型生活介護」の指定を、平成三十一年四月一日付で東京都より頂きました。



昔の暮らしを体験中！

利用者の皆様にお楽しみ頂く外出行事では、江戸東京博物館やレストランに行き、普段の活動とはまったく違う楽しさをぞんぶんに味わって頂き、たくさん笑顔を見ることができました。

かもめ園（知的）

個別活動を重視し、希望により買い物・創作・喫茶・調理・ビデオ鑑賞等を実施しました。限られた時間ですが、社会生活を支援する重要な活動です。

また、他のサービスを利用する方も増え、現在サンかもめ、さつき、第一しいのき学園（福栄会）などへ日中に通所しています。



二人合わせて178歳です！

インフルエンザには数名かかりましたが、その他の感染症はなく、三月より新型コロナウイルス対策として、外出や家族の面会等を自粛しました。

さつきでは、軽作業、クリーニング作業、売店、喫茶の作業用加湿空気清浄機を設置し、除菌、消臭などの環境整備を図りました。

さつきでは、軽作業、クリーニング作業、売店、喫茶の作業用加湿空気清浄機を設置し、除菌、消臭などの環境整備を図りました。

かもめ園（身体）

地下の浴室に寝台型浴槽と六階作業場には蒸気式加湿器を設置しました。また、障害者スポーツ大会で好成績をおさめました！



障害者スポーツ大会で好成績をおさめました！

業を実施しました。

また、新規に様々な障害をお持ちの方を受け入れました。安定した仕事の提供や、工賃の向上にも取り組みました。また、土曜日の仕事後にお鍋屋で忘年会を行っています。

従業員の平均年齢は四十五歳を越えましたが、職員共々、意欲を以て元気に邁進しています。

鮫洲なぎさの家では、世話人の入れ替えがありましたが混乱もなく、安定した生活支援を進める事が出来ました。



八景島へ日帰り旅行にて

各利用者の身体状況の変化に伴い、リクライニング式ベッドの整備と各居室に個別LED照明を設置しました。安心と安全な居住空間を整備した結果、感染症の罹患なく快適に過ごす事が出来ました。

新型コロナウイルスの流行でマスク不足が生じているため、六階作業場にて手作りマスクの作成をした結果、好評で順調な売り上げとなり、マスク関連商品の創作活動も取り入れ、利用者の生産活動の意欲向上に繋がりました。

福祉工場しながわ

福祉工場しながらわでは一般就労一名、事業所移行が二名、新規利用者が一名となり、三十六名の従業員の方たちが働いています。

方についても支援の必要性が高く、外出や行事参加でのコミュニケーション、セミナー、話題の提供により、社会性を保つ役割が重要と考え支援に努めています。地域交流の一環として、大規模避難訓練への参加や、町会の方々とのバーベキューを実施しています。

ます。夏には暑払いとして大井町の居酒屋で日頃の業務を労い、秋には山梨県石和へ一泊旅行、年末は近所のもつ鍋屋で忘年会を行っています。

サン カ も め

サンかもめでは、利用者の高齢化、障害の重度化への対応として、サービス向上委員会で日課・プログラムの見直しを進め、スマートな日課の流れ・利用者の分散・一人で過ごせる居場所づくり等を意識した環境整備に取り組みました。

音楽・リハビリ・テレショーン・手芸・紙漉き・

利用者皆で大制作！
(一面に完成作品)



心身障害者福祉会館八潮中央保育園

指定管理を更新した一年目となり、各事業で計画した事業運営を進めてきました。自立訓練事業では、新たに送迎サービスと訪問型訓練を開始し、サービスの充実を図りました。

生活介護事業では、障害の重度化、高齢化への対応のため、重度障害者支援や医療的ケアへの対応を行う準備として、職員のスキルアップに取り組みました。

地域活動支援センターでは、移動支援従業者養成研修を実施できる体制を整えました。障害児者相談支援センターでは、新たに障害児の相談事業を開始し、品川区内の相談支援の充実につなげました。



自立訓練事業の訓練終了式！！

年間を通して定員を満たした状態で運営しています。心身共に元気な子どもであることをを目指し、八潮の恵まれた自然の中で充分に身体を動かし、自然物に触れあう遊びを行ってきました。また、令和三年度に予定されている大規模改修に向けて、他園の見学を複数回実施し、保育環境について、職員間で意見交換を行ってきました。

八潮中央保育園



皆で一緒に！

やつ作り、工作等、毎回定員をオーバーするなど好評を博しました。また、縁側カフェは、カラオケやお茶を飲みながら和やかな時間を過ごすことができました。

ボランティア講座では「介護医療に役立つ初めてのアロマテラピー」を開催し、ボランティア活動により良い支援を拡げる事ができました。

ボランティア講座では「介護医療に役立つ初めてのアロマテラピー」を開催し、ボランティア活動により良い支援を拡げる事ができました。

地域福祉力向上を目指し、地域交流活動・福祉教育活動・広報活動を実施しました。

地域 福 祉 課

地域の理念である「地域とともに」を実践すべく、地域交流事業として「しなふく紅葉フェスタ」を開催しました。ステージでは参加型のゲームやハロ윈インファンシヨンショーを行い、施設利用者、地域住民がともに楽しみ相互理解を深めることができました。また、各種地域行事への参加や「こどものつどい」を企業ボランティアの皆さん協力で実施し、好評を博しました。

令和元年度のご寄付

皆様から、ご寄付をいただきました。心よりお礼申し上げます。

五十音順敬称略

個人

荒山三千代	小野 孝	島崎 妙子	野村 祐一	矢部 正美
石澤 裕子	勝野 翼	須藤 英雄	日比 ミリ子	山下 隆
井上 ゆみ子	加藤 久明	鈴木 敏夫	松好 美幸	
岡野 はるか	佐藤 武平	西島 信夫	水野谷 育男	

団体

イトヨーカドー労働組合 大井町支部	品川区重症心身障害児者を守る会	地域生花サークル一同	八潮50号棟自治会	八潮4号棟自治会
魚栄	品川区手をつなぐ育成会	ディ・エス・スタッフ株 代表取締役 入澤理沙	八潮58・59号棟自治会	八潮40号棟自治会
株品川都市整備公社	(社福)さくら会	西中三親友会	八潮自治会連合会	八潮49号棟自治会
かもめ園家族会(身体)	(社福)品川区 社会福祉協議会	日本製鋼所 労働組合	八潮地区防災協議会	八潮60号棟自治会
かもめ園家族会(知的)	(社福)春光福祉会	へいわしながわ アクションセンター	八潮地区民生委員協議会	八潮わかくさ荘有志一同
コーシャハイム八潮西自治会	(社福)福栄会	八潮学園	八潮中央保育園父母の会	ゆたか在宅福祉サービス 代表磯見直子
品川区視覚障害者 福祉協議会	青少年対策 八潮地区委員会	八潮1号棟自治会	八潮2号棟自治会	

貸借対照表

令和2年 03月 31日 現在

令和元年度 社会福祉法人品川総合福祉センター 法人事業合計

(単位:円)

資産の部				負債の部			
勘定科目	当年度末	前年度末	増減	勘定科目	当年度末	前年度末	増減
流动資産	1,244,048,189	1,229,559,950	14,488,239	流动負債	293,163,464	302,398,370	-9,234,906
現金預金	834,567,602	827,905,368	6,662,234	事業未払金	161,946,089	144,054,975	17,891,114
事業未収金	385,881,333	391,082,953	-5,201,620	1年内返済予定設備資金借入金	10,010,000	10,010,000	
未収補助金	14,668,500		14,668,500	1年内返済予定リース債務	7,751,232		7751232
商品・製品	2,379,601	2,010,726	368,875	預り金	5,769,890	24,742,321	-28,972,431
原材料	2,038,821	2,255,051	-216,230	職員預り金	10,811,253	29,248,074	-18,436,821
立替金	212,734	455,739	-243,005	賞与引当金	96,875,000	94,343,000	25,352,000
前払金	1,099,800	1,241,520	-141,720	固定負債	322,731,926	295,304,332	27,427,594
前払費用	322,709	130,693	192,016	設備資金借入金	98,430,000	108,440,000	-10,010,000
仮払金	7,983,800	8,263,900	-280,100	リース債務	29,241,612		29,241,612
徴収不能引当金	-5,106,711	-3,786,000	-1,320,711	退職給付引当金	195,060,314	186,864,332	8,195,982
固定資産	1,606,229,187	1,767,529,110	-161,299,923	負債の部合計	615,895,390	597,702,702	18,192,688
(基本財産)	887,584,731	947,375,368	-59,790,637	純資産の部			
建物	886,584,731	946,375,368	-59,790,637	基本金	1,000,000	1,000,000	
定期預金	1,000,000	1,000,000		国庫補助金等特別積立金	571,672,870	612,652,901	-40,980,031
(その他の固定資産)	718,644,456	820,153,742	-101,509,286	その他の積立金	381,569,327	526,728,260	-145,158,933
建物	3,249,003	3,659,402	-410,399	人件費積立金	42,000,000	22,000,000	20,000,000
車輌運搬具	23,927,431	18,480,795	5,446,636	修繕積立金	15,000,000	15,000,000	
器具及び備品	73,623,642	78,051,338	-4,427,696	備品等購入積立金	29,520,000	9,520,000	20,000,000
有形リース資産	36,913,093		36,913,093	工賃変動積立金		600,000	-600,000
ソフトウェア	3,707,879	5,867,625	-2,159,746	設備等整備積立金	4,620,000	4,620,000	
投資有価証券		229,361,990	-229,361,990	設備更新積立金	290,429,327	245,988,260	44,441,067
退職給付引当資産	195,060,314	186,864,332	8,195,982	施設運営費積立金		229,000,000	-229,000,000
人件費積立資産	42,000,000	22,000,000	20,000,000				
修繕積立資産	15,000,000	15,000,000					
備品等購入積立資産	29,520,000	9,520,000	20,000,000				
工賃変動積立資産		600,000	-600,000				
設備等整備積立資産	4,620,000	4,620,000					
設備更新積立資産	290,429,327	245,988,260	44,441,067				
差入保証金	90,000	90,000					
長期前払費用	453,767		453,767				
その他の固定資産	50,000	50,000					
資産の部合計	2,850,277,376	2,997,089,060	-146,811,684	負債及び純資産の部合計	2,850,277,376	2,997,089,060	-146,811,684

事業活動計算書

(自) 平成31年 04月 01日 (至) 令和2年 03月 31日

令和元年度 社会福祉法人品川総合福祉センター 法人事業合計

(単位:円)

勘定科目		本年度決算	前年度決算	増減
サービス活動増減の部	収益	介護保険事業収益	1,788,249,779	1,795,945,146
		保育事業収益	206,430,154	205,456,920
		就労支援事業収益	138,117,963	134,982,657
		障害福祉サービス等事業収益	1,182,229,078	1,142,967,016
		公益事業収益	37,746,146	35,286,434
		経常経費寄附金収益	1,445,639	2,609,321
		その他の収益	1,856,604	1,393,328
	サービス活動収益計(1)	3,356,075,363	3,318,640,822	37,434,541
サービス活動増減の部	費用	人件費	2,283,872,234	2,240,948,924
		事業費	381,793,005	388,123,818
		事務費	606,025,667	567,372,787
		就労支援事業費用	187,492,708	182,566,422
		利用者負担軽減額	93,099	103,939
		減価償却費	123,173,393	125,345,581
		国庫補助金等特別積立金取崩額	-64,386,471	-63,961,097
	サービス活動費用計(2)	3,521,404,103	3,441,035,374	80,368,729
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	-165,328,740	-122,394,552	-42,934,188
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	308,466	347,234
		その他のサービス活動外収益	42,652,906	41,946,836
		サービス活動外収益計(4)	42,961,372	42,294,070
	費用	投資有価証券評価損		652,105
		投資有価証券売却損	361,990	361,990
	サービス活動外費用計(5)	2,217,421	2,040,160	177,261
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	2,579,411	2,692,265	-112,854
経常増減差額(7)=(3)+(6)		40,381,961	39,601,805	780,156
経常増減差額(7)=(3)+(6)		-124,946,779	-82,792,747	-42,154,032
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	23,888,380	9,400,000
		その他の特別収益	1,378,685	536,000
		特別収益計(8)	25,267,065	9,936,000
	費用	固定資産売却損・処分損	540,187	767,248
		国庫補助金等特別積立金積立額	23,406,440	10,064,900
		その他の特別損失	398,000	947,000
		特別費用計(9)	24,344,627	11,779,148
		特別増減差額(10)=(8)-(9)	922,438	-1,843,148
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		-124,024,341	-84,635,895	-39,388,446
増減繰越額活動の部	前期繰越活動増減差額(12)	1,259,005,197	1,341,265,737	-82,260,540
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	1,134,980,856	1,256,629,842	-121,648,986
	その他の積立金取崩額(15)	243,272,933	19,516,000	223,756,933
	その他の積立金積立額(16)	98,114,000	17,140,645	80,973,355
	次期繰越活動増減差額(17)=(13+14+15-16)	1,280,139,789	1,259,005,197	21,134,592

AED 寄贈のお礼

所労働組合様より、自動体外式除細動器（日本光電製AED-3150）を寄付いただきました。

株式会社日本製鋼

この事業は、日本製鋼所労働組合様の活動の一環で、社会福祉事業を支援していくことを目的とする社会貢献活動として実施されているものです。

これまでも、平成二十二年に大型液晶テレビ・衣類乾燥機等、さらに平成二十五年に洗濯機・衣類乾燥機・DVDレコード等のご寄付があ

り、この度で三回目のご厚志を頂くことになりました。

三月二十六日（木）には、労働組合代表の西野匡則様・松岡雄介様が来訪され、小野常務理事同席のもと「寄付贈呈式」を行い、当センターから、永い間における社会福祉事業の支援に対して心からの感謝を申し上げました。

AEDは、緊急時には必要なもので、施設関係者はじめ地域の方々にも設置情報を提供し活用を図りたいと考えました。



日本光電製AED-3150



寄付贈呈式（左より西野様、松岡様）

新製品のご紹介!!



新製品できました!
耳の痛くならない
藍染ヘアバンド&
マスクホルダー
マスクチャーム

現在は、快適な感染症予防ができるよう接触冷感の素材を使用し「夏用マスク」を作成し、品川総合福祉センターの売店で販売をしております。

かもめ園の六階作業場では、主製品で「手作りマスク」を作成し、地域の方々に好評を得ています。

後援会のご案内

品川総合福祉センター後援会
ご入会のお願い

後援会では、利用者の皆さん的生活の充実を図るために活動しています。

皆様のご協力をお願いします。
会費／月額 一口三百円
一年分三千六百円となります。
後援会事務局／地域福祉課
電話〇三一三七九〇一四八三九



このコーナーは、普段は目に留まらないちょっととしたホツとすらものを「窓」を通して写真で紹介していくコーナーです。

品川区立心身障害者福祉会館より第二弾！
一階の奥に、生活介護の「たんぽぽ」グループがあります。通常十

くください。

今回夏の飾り！